

病害虫発生予察情報

向こう1ヶ月（8月）の予報

平成23年度 予報第4号

東京都病害虫防除所

〒190-0013 立川市富士見町 3-8-1

Tel 042-525-8236 Fax 042-529-0943

<http://www.jpnpn.ne.jp/tokyo>

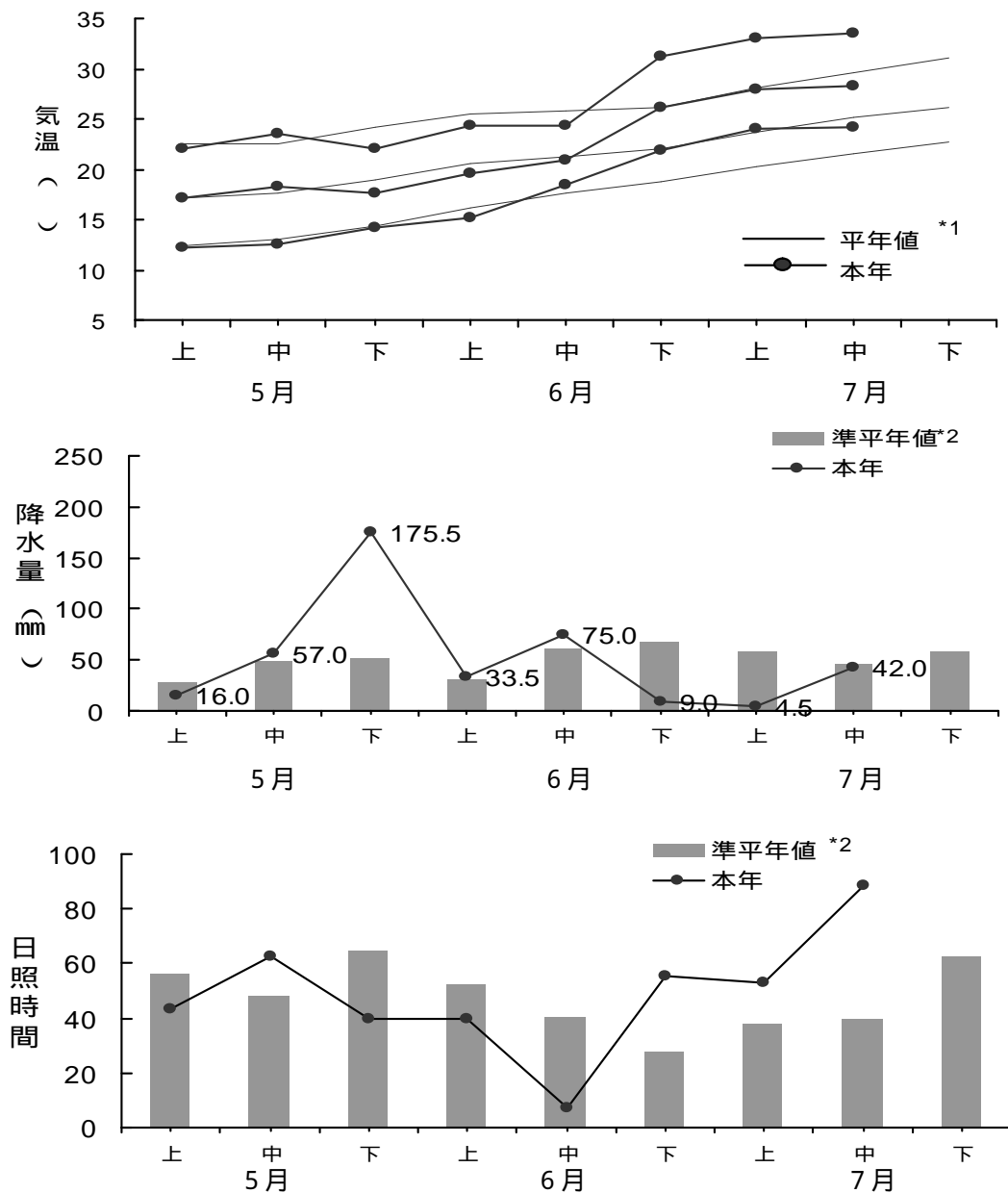
e-mail: S0200303@section.metro.tokyo.jp

【気象予報】平成23年7月22日 気象庁 地球環境・海洋部発表，関東甲信地方の1か月予報より

確率	要素	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
	気温	30	40	30
	降水量	20	40	40
	日照時間	40	40	20

【気温・降水量・日照時間の経過】 準平年値と本年の7月中旬までのデータを示した。

(東京都府中市 気象庁気象観測所データ)



*1：1981-2010の平均値，*2：1987-2010の平均値

斑点米カメムシの発生が多くなっています！

7月の巡回調査でカメムシ類が例年より多く確認されています。これらのカメムシ類は出穂後、穂を吸汁し、斑点米を多発させる原因となりますので、生息場所の水田畦畔や休耕田等の除草を**出穂期2週間前**までに行いましょう！

(出穂期2週間前以降の除草作業はカメムシ類の水田への移行を助長し、被害を大きくするため、この時期以降は薬剤による防除を実施して下さい！)

8～9月はハイマダラノメイガの発生が多くなります！

アブラナ科野菜の生長点近くを加害するため、生育が停止したり、枯死することがあります。また、キャベツでは、3～4個のわき芽ができて、正常な結球ができなくなります。育苗及び定植期における防除を徹底しましょう！

【病害虫発生予報】 (各根拠に記した()内記号は発生助長要因の強度を示す)

イネの病害虫**1. いもち病**

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では現在の発生は少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば、気温は平年並、降水量は平年並～多い、日照時間は平年並～少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 今後の天候に留意し、発生の拡大が見られるときには、ただちに防除指針に従い防除する。
- 2) 現在、葉いもちの発生が認められる場合には、今後の穂いもちの発生に十分注意する。

2. 紋枯病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生はやや少ない。(±)
- 2) 気象予報によれば、気温は平年並、降水量は平年並～多い、日照時間は平年並～少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

3. ニカメイガ(二化期)

予報内容

発生時期 並

発生量 少

予報の根拠

- 1) 各地とも一化期の発生は確認できなかった。(±)
- 2) 巡回調査では、各地とも発生は認められなかった。(-)
- 3) 気象予報によれば、気温は平年並、降水量は平年並～多い、日照時間は平年並～少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 二化期の発蛾最盛期は8月第2半旬以降と予想されるのでその後の幼虫の

発生を見て防除する。

2) 発生を見たら防除指針に従い薬剤を散布する。

4. セジロウンカ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査によるすくい取り調査では、各地とも発生はやや少ない。(-)
- 2) 予察灯の誘殺数はやや少なかった。(-)
- 3) 発生消長からみて今後、増加期にあたる。(+)
- 4) 気象予報によれば、気温は平年並、降水量は平年並～多い、日照時間は平年並～少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

5. 斑点米カメムシ(クモヘリカメムシ・アカヒゲホソミドリカスミカメ)

予報内容

発生量 多

予報の根拠

- 1) 巡回調査による畦畔や休耕田でのすくい取り調査では、一部の圃場でアカヒゲホソミドリカスミカメ及びクモヘリカメムシの捕獲量が多い。(+)
- 2) アカヒゲホソミドリカスミカメの予察灯への飛来量はやや多い。(+)
- 3) 気象予報によれば、気温は平年並、降水量は平年並～多い、日照時間は平年並～少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 畦畔や水田周辺の雑草の草刈りを行う。ただし、出穂前後 2 週間の間除草は逆効果となるので注意する。
- 2) 防除指針に従い防除する。

果樹の病虫害

1. ナシのハダニ類

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生は少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば、気温は平年並、降水量は平年並～多い、日照時間は平年並～少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

2. 果樹共通 チャバネアオカメムシおよびクサギカメムシ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 予察灯およびフェロモントラップでの誘殺数は平年よりやや少ない。(-)
- 2) 巡回調査では、果樹類への飛来は確認されていない。(-)
- 3) 気象予報によれば、気温は平年並、降水量は平年並～多い、日照時間は平年並～少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 園内を見回り早期に飛来状況を把握する。

- 2) 果樹園付近のスギ・ヒノキ・キリなどの実に飛来してくる成虫の観察を行って、今後の発生量に注意する。
- 3) 飛来数が多い場合は防除指針に従い防除する。

茶樹の病虫害

1. チャノコカクモンハマキ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) フェロモントラップ調査によれば、発生は平年に比べ少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば、気温は平年並、降水量は平年並～多い、日照時間は平年並～少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生の多い園では防除指針に従い防除する。
- 2) 年間の発生消長によると3世代目の発生ピークをむかえるため、今後の発生状況に注意する。

2. チャハマキ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査およびフェロモントラップ調査によれば、発生は平年に比べ少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば、気温は平年並、降水量は平年並～多い、日照時間は平年並～少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生の多い園では防除指針に従い防除する。

3. チャノホソガ

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) フェロモントラップ調査によれば、発生は少ない。(-)
- 2) 年間の発生消長では今後減少期に当たる。(-)
- 3) 気象予報によれば、気温は平年並、降水量は平年並～多い、日照時間は平年並～少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生の多い園では防除指針に従い防除する。

野菜の病虫害

1. サツマイモのコガネムシ類

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 予察灯への飛来数はアカビロードコガネは少なく、ドウガネブイブイではやや少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば、気温は平年並、降水量は平年並～多い、日照時間は平年並～少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

1) 幼虫の防除は防除指針に従い防除する。

2. ナスうどんこ病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生はやや少ない。(-)
- 2) 栽培中期～後期にかけて多発する傾向がある(+)
- 3) 気象予報によれば、気温は平年並、降水量は平年並～多い、日照時間は平年並～少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い初期防除に努める。

3. ナスのナミハダニ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では、各地とも発生量はやや少ない。(-)
- 2) 今後、増加期に当たる。(+)
- 3) 気象予報によれば、気温は平年並、降水量は平年並～多い、日照時間は平年並～少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生を見たら防除指針に従い防除する。

4. ナスのニジュウヤホシテントウ(テントウムシダマシ)

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 5月中、第一回の成虫発生は各地のジャガイモで平年並であった。(±)
- 2) 巡回調査では、ナスの食害は平年より少なかった。(-)
- 3) 気象予報によれば、気温は平年並、降水量は平年並～多い、日照時間は平年並～少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 成虫・幼虫とも食葉による加害のみならず実も食害する。
- 2) 発生を見たら防除指針に従い防除する。

5. コマツナおよびカブの炭疽病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生はやや少ない。(-)
- 2) 気象予報によれば、気温は平年並、降水量は平年並～多い、日照時間は平年並～少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い初期防除に努める。

6. アブラナ科野菜のコナガ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 7月下旬以降フェロモントラップへの誘殺数は、平年よりもやや少ない。

(-)

- 2) 気象予報によれば, 気温は平年並, 降水量は平年並 ~ 多い, 日照時間は平年並 ~ 少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 越夏量が多いと秋作アブラナ科野菜での発生が多くなるので放置作物は速やかに処分する。
2) 作物ごとに, 防除指針に従い防除する。

7 . アブラナ科野菜のハイマダラノメイガ (ダイコンシンクイムシ)

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査ではアブラナ科野菜での寄生は少ない。(-)
2) フェロモントラップ調査では, 発生は少ない。(-)
3) ここ数年, 7 月下旬から急速に被害が増加してくる。(+)
4) 気象予報によれば, 気温は平年並, 降水量は平年並 ~ 多い, 日照時間は平年並 ~ 少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 本種は幼苗を好んで加害し, その被害株は芯止まりとなる事が多い。
2) 発見が遅れ, 初期防除が遅れると被害が大きくなる。
3) 育苗床における防除を徹底する。
4) キャベツ・ブロッコリー等の育苗床やダイコンを寒冷紗等でトンネル栽培をするなど, 成虫の飛来を防止する。
5) 作物ごとに, 防除指針のハイマダラノメイガの項を参照して防除する。

8 . ネギ黒斑病

予報内容

発生量 並

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生はやや少ない。(-)
2) 7 月の平均気温が高いとその後の発生量が多くなる傾向にある。(+)
3) 気象予報によれば, 気温は平年並, 降水量は平年並 ~ 多い, 日照時間は平年並 ~ 少ないと予想される。(+)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い初期防除に努める。

9 . ネギ類のネギハモグリバエ

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも発生は少ない。(-)
2) 年間の発生消長から見ると, 今後増加期に当たる。(+)
3) 気象予報によれば, 気温は平年並, 降水量は平年並 ~ 多い, 日照時間は平年並 ~ 少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

10 . ネギ類のネギアザミウマ

予報内容

発生量 多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地とも多い。(+)
- 2) 年間の発生消長から見ると今後増加期に当たる。(+)
- 3) 気象予報によれば、気温は平年並、降水量は平年並～多い、日照時間は平年並～少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 防除指針に従い防除する。

1 1 . エダマメのシンクイガ類

予報内容

発生量 やや少

予報の根拠

- 1) 巡回調査では発生量は少ない。(-)
- 2) 年間の発生消長から見ると今後増加期に当たる。(+)
- 3) 気象予報によれば、気温は平年並、降水量は平年並～多い、日照時間は平年並～少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) さや表面の食害痕および排出糞に注意する。
- 2) 晩生品種ほど被害が大きい。
- 3) 防除指針に従い防除する。

1 2 . エダマメのカメムシ類

予報内容

発生量 少

予報の根拠

- 1) 巡回調査ではチャバネアオカメムシとクサギカメムシの発生は平年よりやや少ない。(-)
- 2) ホソヘリカメムシは平年より少ない。(-)
- 3) 気象予報によれば、気温は平年並、降水量は平年並～多い、日照時間は平年並～少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 子実を吸汁することにより奇形莢や変色粒を発生させる。
- 2) 防除指針に従い防除する。

1 3 . 野菜共通 ハスモンヨトウ

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査ではハスモンヨトウの発生は少ない。(-)
- 2) フェロモントラップによる誘殺数はやや多い。(+)
- 3) 年間の発生消長から見ると今後増加期に入る。(+)
- 4) 気象予報によれば、気温は平年並、降水量は平年並～多い、日照時間は平年並～少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 発生を見たら作物ごとに防除指針に従い防除する。

1 4 . 野菜（果菜類）共通 コナジラミ類

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査では各地ともオンシツコナジラミの発生は少なく、タバココナジラミの発生は一部の圃場で多い。(+)

2) 年間の発消長からみると、今後はタバココナジラミの増加期にあたる。

(+)

3) 気象予報によれば、気温は平年並、降水量は平年並～多い、日照時間は平年並～少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 圃場周辺の除草を徹底する。
- 2) 施設開口部に 0.4mm 目以下の防虫ネットを張りコナジラミ類の侵入を防ぐ。
- 3) 施設では、育苗中を含め、黄色粘着トラップを設置し、コナジラミ類の発生状況を監視する。
- 4) タバココナジラミはトマト黄化葉巻ウイルスを媒介する。ウイルスに感染した苗は発見次第、直ちに処分する。
- 5) 都内ではバイオタイプ Q のタバココナジラミが多いため、タイプ Q に有効な薬剤で防除指針に従って適正に防除する。

15. 野菜（果菜類）共通 オオタバコガ

予報内容

発生量 やや多

予報の根拠

- 1) 巡回調査でのトマトの寄生株率は 19.3% 平年と比べやや多い。(+)
- 2) 気象予報によれば、気温は平年並、降水量は平年並～多い、日照時間は平年並～少ないと予想される。(-)

防除上考慮すべき事項

- 1) 果菜類の比較的幼果や若い果実を好むので排泄糞に注意する。
- 2) 被害果を放置せず、速やかに処分する。
- 3) 果菜類のほか、キャベツ・レタス・インゲン・バラ・キク・カーネーションなどにも寄生する。
- 4) 防除指針を参考にして防除する。

テレフォンサービス

0 4 2 (5 2 5) 8 4 0 7

インターネット上の防除所ホームページ

<http://www.jppn.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予報，発生状況，防除方法などをお知らせしています。また，農薬に関する詳しい情報は，農林水産省ホームページの「農薬コーナー」をご覧ください。

(<http://www.maff.go.jp/nouyaku/>)